

第3回がん対策部会で出された意見・要望の現状と課題

意見・要望	現状と課題
<p>精検受診率がやや低く、精検受診率は80%以上としたい。</p>	<p>一次検診実施医療機関向けの研修や精検未受診者のリスト送付などの取組によって、精検受診率を向上させていく。</p>
<p>エコーを併用して本当に発見につながっているかどうか評価するためには、発見された乳がんの自覚症状があったかどうか確認する必要がある。</p>	<p>乳がん検診実施医療機関に自覚症状の有無を追加した新様式を配布し、自覚症状の有無を確認してもらっている。</p>
<p>自覚症状の有無によって検診成績を調べてほしい。</p>	<p>自覚症状の有無を含めた問診票は、医療機関から札幌市へ報告されていないものであるため、現時点で自覚症状の有無で2群間に分けて解析することは困難なのが現状である。</p>
<p>エコーを併用することによって、判定結果が変わった症例はどのくらいあるか。</p>	<p>精検結果を追跡して解析することは困難であるが、一次検診結果を分析することはできる(参考資料2参照)。</p>
<p>同意書に不利益を示す内容をもう少し詳しく説明する必要があるのではないか。</p>	<p>既存の同意書では、乳エコーを受けることで、 ①過剰診断される可能性 ②がんの見逃しについて説明している。 同意書を変更する場合は、具体的な変更内容に関する意見を踏まえて修正する。</p>